

(七丁ウゝ八丁オ)

- ① 人とともに泣なくをミれば、めでたきいわひ事出来できて大よし、
- ② 大いに声こゑを上あてなくとミれば、音曲おんきょくにあそびたのしむ事ありてよし、
- ③ 遠とき方かたより人きたりてなくとミれば、かならずちかづきの人死しするなり、
- ④ 玉たまをつみて山のごとくなるをミれば、おゝいにあしく、
- ⑤ 玉わがふところにミつるとミれハ、あくじ来きたりてなんぎにおよぶなり、
- ⑥ 笛ふえをふきつゞミをうてバ、よろこび事ありて大いによし、
- ⑦ 蝦蟇かへるなきてはしるとミれば、口ぜつ事おこるしるしなり、
- ⑧ かにをミれば、よろづの事ちりミだれて大いにあしく、
- ⑨ 泥亀すっぽんをミれば、家とくにありつく也、また女ハよろこび事あり、
- ⑩ 牛山うしの上うへにのぼるとミれば、大いにさいわひありていへさかゆるなり、
- ⑪ 牛うしの角つのに血ちつきたりとミれば、其人かならず立身りっしんするなり、
- ⑫ 能馬よきむまにのるとミれば、大いに吉事なり、
- ⑬ 駄だちん馬だにのるとミれば、よろしからず、
- ⑭ 魚水うをの上うへにとぶとミれば、ばんじする事なすことミなまちがひて大いにあしく、
- ⑮ こひをミれば、妻つまてかけなど妊にんしんする吉相きつあひなり、
- ⑯ かわきたるうを水におよぐとミれば、おもひ事じやうじゆするなり、

⑰ おくくのうを水にあそぶとシレバ、きんぐをもうくるしるしな  
り、